

会 議 議 事 録

1 会議名	令和3年度第1回長岡市公立大学法人評価委員会
2 開催日時	令和3年7月6日(火)午後1時30分から午後3時まで
3 開催場所	オンライン会議
4 出席者名	<p>(委員) 中村委員長 草間委員 並木委員 楨委員</p> <p>(説明のために出席した関係者)</p> <p>公立大学法人長岡造形大学 水流理事長 公立大学法人長岡造形大学 馬場学長 公立大学法人長岡造形大学 河村副理事長 公立大学法人長岡造形大学 久島事務局長 公立大学法人長岡造形大学 白崎経営企画室主幹 公立大学法人長岡造形大学 佐藤財務課長</p> <p>(事務局) 長岡市地方創生推進部 竹内部長 長岡市政策企画課 河上課長補佐 長岡市政策企画課 小黒主任</p>
5 欠席者名	水澤委員
6 議事	<p>(1) 令和2年度業務実績報告について</p> <p>(2) 役員報酬規程の改正について</p>
7 審議結果の概要	議事(1)は、大学と委員の間で質疑応答を行い、今後の評価書づくりに反映させていくこととなった。議事(2)は案のとおり承認された。
8 審議の内容	
事務局・政策企画課課長補佐	<p>本日は、お忙しいところお集まりいただき、誠にありがとうございます。これより、令和3年度第1回長岡市公立大学法人評価委員会を開催いたします。はじめに竹内地方創生推進部長よりご挨拶申し上げます。</p>

事務局・地方創生 推進部長	(部長挨拶)
事務局・政策企画 課課長補佐	<p>本日の評価委員会は、水澤委員が都合によりご欠席となっておりますが、委員5名のうち4名が出席されておりますので、長岡市公立大学法人評価委員会条例第5条第3項の規定を満たしていることをご報告いたします。なお、このたびの評価委員会は、長岡造形大学の水流理事長、馬場学長、河村副理事長、久島事務局長ほか事務局職員からご出席いただいております。</p> <p>それでは、水流理事長から一言ご挨拶をお願いします。</p>
理事長	(理事長挨拶)
事務局・政策企画 課課長補佐	<p>理事長、ありがとうございました。</p> <p>それでは、議事の進行を中村委員長にお願いしたいと思います。中村委員長、よろしく願いいたします。</p>
委員長	<p>それでは議事に入りたいと思います。今日の議事は2件です。</p> <p>1件目は、令和2年度業務実績報告についてです。大学から自己評価の説明をしてもらい、それについて各委員から質問とご意見を伺います。財務状況については参考情報としてご説明いただければと思います。</p> <p>2件目は、役員等報酬規程の改正について事務局より説明してもらい、それについて各委員から質問とご意見を伺います。</p> <p>では、1件目の令和2年度業務実績報告についてです。</p> <p>まず初めに、年度評価における評価基準について、提案です。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、不特定多数が集まるイベントや学生の海外留学支援など、一部の事業がやむを得ず中止になったと伺っています。</p> <p>年度評価実施要領によると、事業を実施しないときの評定は「d」となりますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止にした事業で、評価基準における評定や標語を付すことが適当でないものは、「評価なし」としたいと思いますが、委員の皆様よろしいでしょうか。</p> <p>【委員全員 了解の発言】</p>

<p>大学事務局長</p>	<p>それでは、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止にした事業で、評価基準における評定や標語を付すことが適当でないものについては、評価基準の評定を「評価なし」とします。</p> <p>それでは、大学側から業務実績報告について、説明をお願いします。</p> <p>(資料1により説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>委員の皆さんで質問がありましたら、お願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>コロナ対策を速やかに適切に行っていると思いますが、学内では感染者はいましたか。</p>
<p>副理事長</p>	<p>1名の学生が感染しました。学内の濃厚接触者数名にPCR検査を行い感染者はなし。町内会にもお話をしました。</p>
<p>委員</p>	<p>コロナ禍のなかでも対面授業を行ってきたところが学生の満足度が高いことにつながっていると感じました。</p> <p>また、出願者が増えているのも、試験にオンラインを取り入れたことが結果として表れていると思います。</p> <p>質問ですが、授業料の減免や給付金等がありますが、コロナを理由に退学・休学した学生はいますか。</p>
<p>副理事長</p>	<p>経済困窮している学生を対象に大学独自の減免制度を適用してきました。併せて国の授業料減免制度ができたことで従来よりも支援する学生数は増えています。</p>
<p>委員</p>	<p>入試制度のことで質問ですが、一般入試では自己プレゼンテーション用紙を導入したようですが、どう変わったのか、どこが評価に加わったのでしょうか。</p>
<p>学長</p>	<p>自己プレゼンテーション用紙はA0入試で取り入れていました。高校生活でどのようなことに力を入れて取り組んでいたかと、各自が今後どうデザインに関わっていきたいかを書くことで高校生が考える機会</p>

<p>委員長</p>	<p>になっています。</p> <p>また、令和2年度から全員面接にしたことで、自己プレゼンテーション用紙を通して志望動機を丁寧に聞いていくことで、受験生のスタイルにあった入試ができていると思います。</p>
<p>学長</p>	<p>学科の再編について、専門化していたものを総合化したように見えますが、従来はデジタルテクノロジーに特化していたようですが、テクノロジーとデザインについてどのようなお考えで再編に至ったか教えてください。</p> <p>4学科から3学科になったことは少しぶれているように見えますが、本学は1学部で、1年生は基礎的なこと、2年生以降の学部共通の座学はどの学科にいてもほぼ同じ講義を受けれるようにしました。本質的な考え方はどの学科も同じですが、受験生にとっては専門を出したほうがわかりやすくだらうということでこのような形になりました。</p> <p>ただ、近年、社会で求められているのは、プロダクトデザイナーとグラフィック（ビジュアル）デザイナーが融合した人材でどちらか1つの専門だけでは成り立たなくなってきました。そのため、大学教育でも軸足を持ちながらもデジタルに対して積極的に関わっていけるような人材を育てることが必要となりました。</p> <p>さらにコロナ禍において、デジタル化が急速に広まり、その流れに乗って一気に融合をしたほうが良いと考え3学科体制になりました。</p>
<p>委員長</p>	<p>ほかにご質問はありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>デジタル化は重要だと思っていて、これからの商品にはデザインとデジタルを掛け合わせていかなければならないのだと思っています。</p> <p>平成30年度から検討し令和5年から実施するのはとてもスピード感があり、大学がリーダーシップを持って進められた結果でとても素晴らしいと思います。</p> <p>また、テクノロジー×デザイン領域の定員はもう少し多くてもいいのではないかと思います。新しい領域は、大学の特徴がもっとも出せる部分であり楽しみなところでもあるので、もっと強調して進めていくといいと思いました。</p>
<p>委員長</p>	<p>追加で1点ですが、ナデックベースの取組で3大学と1高専で様々</p>

委員長	<p>な取り組みを進めていただいているというのが報告書にありました。今のビジョンにおいてもどう活かしていけるかが鍵になりますので、ぜひ頑張ってくださいと思います。</p> <p>それでは次に、議事ではありませんが、参考まで、令和 2 年度決算の概要について大学側から説明をお願いします。</p>
大学事務局長	(説明)
委員長	<p>いまほどの説明について、ご質問がありましたら、お願いします。</p> <p>(質問・意見なし)</p>
委員長	<p>ほかに質問が無ければ、議事 2 件目、役員等報酬規程の改正についてに移ります。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局・政策企画課課長補佐	(資料 2 を基に説明)
委員長	<p>委員の皆様からご質問等ありましたらお願いします。</p> <p>(質問・意見なし)</p> <p>それでは意見等ないようですので、本日予定していた議事は以上となります。</p> <p>進行にご協力いただき、ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。</p>
事務局・政策企画課課長補佐	<p>中村委員長ありがとうございました。</p> <p>それでは、これにて、「令和 3 年度第 1 回長岡市公立大学法人評価委員会」を終了いたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>

上記議事録は、その記載内容が事実と相違ないことを確認し、ここに署名する。

委 員

委 員

9 会議資料

- 次第
- 資料 1 令和 2 年度業務実績報告書
- 資料 2 - 1 公立大学法人長岡造形大学の役員報酬並びに職員の給与の支給基準に関する届出書（変更）（令和 3 年 1 月 1 2 日付）
- 資料 2 - 2 公立大学法人長岡造形大学の役員報酬並びに職員の給与の支給基準に関する届出書（変更）（令和 3 年 4 月 6 日付）